

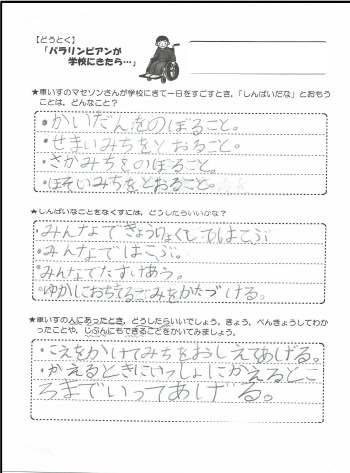
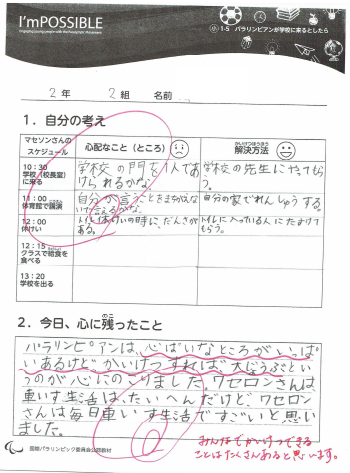
2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 坂東市立沓掛小学校 】

1 実践テーマ	I・III・V
2 実施対象者 (学年・人数)	坂東市立沓掛小学校 1～6年生 236名 職員20名 保護者・地域の方 10名 合計266名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (道徳・体育・総合的学習の時間) ② 行事名 (オリンピック・パラリンピック教育推進学習会) ③ その他 (オリンピック・パラリンピックコーナーの設置) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	○ 車椅子バスケットボール選手の話を知ったり学んだりすることにより、目標をもち努力をすることの大切さについて理解が深まるようにする。 ○ 車椅子バスケットの実演や体験を通して、車椅子で生活する人や障害のある人に対する理解を深め、共生社会やパラリンピックへの関心が高まるようにする。
5 取組内容	1 「いきいき茨城ゆめ国体2019」のハンドボール競技の応援に参加(6年生) 2 パラリンピック教材「I'mPOSSIBLE」を活用した事前学習 1・2年生は「パラリンピアンが学校に来るとしたら」、3年生は「東京2020パラリンピックを楽しもう!」、4・5年生は「パラリンピアンを応援しよう!」6年生は「公平について考えてみよう!」を活用して事前学習を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"><div></div><div></div></div>

- ①日時：令和元年 12 月 16 日（月）10 時 15 分～12 時
②場所：坂東市立沓掛小学校 体育館
③講師：車椅子バスケットボールチーム「Tochigi レイカーズ」
選手 4 名
④内容：○選手の皆様より「あきらめない心」の講話
○車椅子バスケットボールについての説明
○車椅子バスケットボールの体験（全学年代表児童）
○車椅子バスケットボールの実演・質問コーナー

	<p>⑤車椅子バスケットボール体験の様子とお礼の言葉</p>  <p>⑥学習会の様子をホームページで地域に発信</p>
6 主な成果	<p>○選手の考え方・生き方から、自分の夢や目標について考えたり、あきらめずに努力したりすることの大切さを学ぶことができた。</p> <p>○パラスポーツへの興味・関心が高まった。</p> <p>○オリンピック・パラリンピックを身近に感じることができたため、東京オリンピック・パラリンピックへの関心・興味が高まった。</p> <p>○障害のある人も障害がない人も同じ社会で生きている（共生社会）についても考えることができた。</p>
7 実践において工夫した点（事業の特色）	<p>○全学年の代表児童が車椅子バスケットボールを体験し、パラスポーツの難しさを体験することとともに、パラアスリートの皆さんの生の声を子供たちに聞かせることによって、「あきらめない」ことの素晴らしさを感じとることができるようにした。</p> <p>○3年以上の福祉体験学習（3年：手話体験、4年：車椅子・白杖体験、5年：認知症サポーター養成学習、6年：高齢者疑似体験）と関連づけて、この事業を実施した。</p>
8 主な課題等	<p>○全校児童一斉にオリンピック・パラリンピック教育推進学習会を行ったので、時間的に全員体験はできなかった。</p> <p>○講師の方のトイレ（多目的トイレ）が、体育館より一番遠い反対側の新校舎に1つしかないので、ご不便をかけてしまった。</p> <p>○学校の校舎がバリアフリー化されていないので、移動にご不便をかけてしまった。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>○福祉体験学習と関連づけながら、パラスポーツについての学習を取り入れる。</p> <p>○オリンピック・パラリンピックについての図書を活用し、東京オリンピック・パラリンピックへの関心・興味を高める。</p>